

学校法人 三幸学園
横浜こども専門学校

学校自己評価報告書
(平成27年度)

平成27年度 学校法人 三幸学園 横浜こども専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：教務課長 今村温子

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 江頭宏明

1. 学校の教育目標

学園全体で目指す人材育成像ならびに全国こども校にて目指す人材育成像を達成すべく、
学校運営・教育を行う。

目指す人材育成像(学園全体)

『素直な心・感謝の気持ち・高い意欲を持ち続け、自ら考え自ら行動することで、社会に貢献する人材』

目指す人材育成像(こども校)

『皆から信頼・感謝され、こどもの未来を育む人材』

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1)経営理念、経営目標、教育理念、ミッション・ビジョン、目指す人材育成像の共有・・・対教職員

2)教務目標・・・統一した生徒指導の基礎徹底(人間力の基礎作り:挨拶、清掃、出席)

精皆勤率 全クラス 年間最終精皆勤率 45%、退学率全体 6.5%

① 挨拶 教員の方からも進んで元気に笑顔で挨拶

② 環境設定 清掃の徹底・身だしなみ指導

③ 欠時管理の徹底

④ 授業アンケート 平均 4.0 以上目標

3)就職目標・・・内定率 100%

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4	③	2	1
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	③	2	1

① 課題

- ・園、施設との関係性を深め、業界の動向や求める人材像を正確に捉え、学校教育に反映していく。

② 今後の改善方策

- ・就職先や実習先との積極的な関係構築及び保護者や生徒への視覚化した情報の提供

③ 特記事項

- ・教職員には、教育理念・ビジョン・ミッション・人材育成方針を、年3回の全体会議やポスター掲示等で周知を図っている。
- ・学生への理念浸透に向けて、ポスター掲示や装飾等での工夫をしている。

④ 委員コメント

- ・在学中は学校の人材育成像を良く担任の先生が言ってくれていて、大事だと理解していた。
- ・卒業して何年かたった今でも頭に残っている。
- ・園でも毎日朝礼で理念を復唱し浸透させていたり、毎月の園便りに目標なども掲載し、保護者への周知も図っている。
- ・高校でも教職員への浸透に力を入れているが、今後は保護者への発信が大事になってくるのではないかと。

(2). 学校運営

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	③	2
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	③	2	1
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	③	2	1
人事、給与に関する制度は整備されているか	④	3	2	1
教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	④	3	2	1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	③	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

① 課題

- ・人事、労務、就業環境の整備に努め、業務の効率化を図る。
- ・各教育の取り組みや活動については積極公開。

② 今後の改善方策

- ・業務フローの見直しや業務改善を積極的に行うことで無駄を無くし、業務の効率化を図る。
- ・学年主任を中心とした学年会の有効活用。

③ 特記事項

- ・学校の運営方法等については、年3回の全教職員が集まった会議にて浸透を図ると共に、積極的に情報提供を行っている。
- ・授業に関することは教科会、生徒については、クラス会、学年会、日常の学校運営は担任会など様々な会議を通して情報共有に努めている。

④ 委員コメント

- ・新たな取り組みを行うには何かを削らないと時間が増える一方になるから、業務の効率を図ることは大事である。
- ・事務作業が多い学校運営では、事務専門の人材雇用などを検討する必要がある。
- ・これからも養成校の生徒を育成する「教員」を育てるシステムやプランを検討してもらいたい。

(3). 教育活動

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	③	2	1
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	③	2	1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	③	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	③	2	1
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	③	2	1
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	③	2	1
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

① 課題

- ・カリキュラムや指導体系において、関連分野業界からの意見が反映される仕組みづくり。
- ・教員の授業力や指導力のさらなる向上。

② 今後の改善方策

- ・実習、就職先アンケートの検証反映。
- ・園長連絡協議会の実施は継続するとともに、内容の検討。
- ・学内でも教員勉強会、研修会を積極的に実施。
- ・実習先や就職先となっている園や施設にて短期実習やボランティア等も実施。

③ 特記事項

- ・今年度、姉妹園でもあるキッズ大陸にて教員実習を実施。
- ・担任会議などで教員勉強会を実施。今後も計画し継続。

④ 委員コメント

- ・アレルギーを持つ子どもも多いので、看護、救急対応の勉強を学校でしっかり学んでおくと役に立つと思う。
- ・研修会なども就職してからもあるので、ファシリテーター技術なども学んでおくと良い。
- ・巡回などで来てくれた先生とのパイプは今後も大事にしていきたい。
- ・卒業し、実習を受け入れる立場になったが「実習」ではなく、「働く」という気持ちで来て欲しいと感じる。

(4). 学修成果

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	就職率の向上が図られているか	④	3	2
資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

① 課題

- ・卒業式までの就職決定率向上
- ・退学率低減
- ・卒業生との連携強化

② 今後の改善方策

- ・各学年会にて、就職指導の内容検討やHRの活用を検討。
- ・学生情報の迅速な共有。
- ・退学防止事例報告会(勉強会)を行う。
- ・スクールカウンセラーの活用。
- ・担任の質向上を目指し担任アンケートを活用する。
- ・実習・就職先アンケートの検証反映。

- ・授業力の向上。

③ 特記事項

- ・保護者通信を発行し、保護者の方への情報共有。
- ・エリア担当教員を配置し、担任とダブルで就職のサポートをしている。
- ・各学年ごとの実習前学習フォローアップの実施。
- ・毎週実施の学年会により、学年全教員でのフォロー制度を実施。
- ・H27 年度退学率 7.6%。
- ・H27 年度就職決定率 98.1%。

④ 委員コメント

- ・保護者対応や障がい児対応など、学校で学んだ内容が就職してからとても役に立っている。
- ・現場で働いていた先生が教えてくれた手遊びはすぐに現場で役に立った。
- ・退学に関しては、やむを得ない事情なのか、防げたのかしっかり検証が必要。
- ・退学率も大事だが、就職後に何年働き続けているかも大事だと思う。

(5). 学生支援

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2
学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	⑤	3	2	1
学生の生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1
保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1

① 課題

- ・保護者、卒業生、高等学校とのさらなる連携が必要である。
- ・学生への支援体制の強化。

② 今後の改善方策

- ・保護者:より積極的な行事への参加依頼。何かあればすぐに相互連絡する体制の強化。
- ・卒業生:継続的かつ密接な教員との情報共有システムの構築。同窓会サイトの充実。
- ・高校:積極的にこちらからもキャリア教育に関する連携を検討する。
- ・カウンセリングの積極的活用を行う。

③ 特記事項

- ・今年度から専属のスクールカウンセラーを設置。
- ・卒業生へのフォローを目的としたホームページ”Sanko Link”。
- ・経済的な支援として、特待生制度、学費応援制度等実施。

④ 委員コメント

- ・学生時代、特待生制度を活用させてもらったので、感謝している。

(6). 教育環境

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1

① 課題

- ・さらに質の高い教育環境、体制を整備する。

② 今後の改善方策

- ・教育環境及び体制を企業と連携し、開発・整備する。
- ・校外実習アンケートのデータ分析を行う。

③ 特記事項

- ・防災訓練の実施を継続。
- ・大震災対応マニュアルを学生全員に配布。
- ・海外研修の内容充実。

④ 委員コメント

- ・設備面で特に不満はなく、学習環境も整っていた。

(7). 学生の受入れ募集

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	③	2	1
学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

① 課題

- ・本校の教育理念を十分に理解して、志ある人材を確保する。

② 今後の改善方策

- ・募集活動を通して、本校の教育理念や特色をわかりやすく伝える。

③ 特記事項

- ・地域に設置されている広報室との連携を強化し、ニーズに合った情報の提供ができるよう取り組んでいる。

④ 委員コメント

- ・在学中、オープンキャンパスの在校生スタッフをやっていたが、自分の経験や学校のことを高校生に伝えられとてもやりがいがあった。
- ・入学を考えている方にとって、在校生スタッフからの話や存在は大きいのではないかと。
- ・高校側としても、正しい情報を分かりやすく伝えてもらいたい。

(8). 財務

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	4	③	2	1

① 課題

- ・社会的なニーズに即した学校の設置・増加に伴って、今後は更なる業務の多様化に対応した体制強化と整備が必要。

② 今後の改善方策

- ・規模の増加に対応するための人材の育成

③ 特記事項

- ・法人全体として、予算も計画通り推移し、財政基盤も安定している。
- ・私立学校振興助成法第 14 条第 3 項の規定に基づき、公認会計士による会計監査を受検している。
また、私立学校法第 37 条の学校法人監事による業務監査及び関係監査を受検している。
26 年度に神奈川県学校検査実施済み

④ 委員コメント

- ・これからも法令に準じた財務管理を行っていただきたい。

(9). 法令等の遵守

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	③	2	1
自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

① 課題

- ・更なる法令遵守の推進。

② 今後の改善方策

- ・会議や掲示物などを通じて、全ての教職員に対して法令遵守を徹底させる。
- ・コンプライアンスムービー視聴

③ 特記事項

- ・平成 26 年度自己評価結果より公開

④ 委員コメント

- ・個人情報の管理徹底は非常に大事。園でも保管方法の工夫や、写真などの管理、確認も徹底している。

(10). 社会貢献・地域貢献

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1

① 課題

- ・積極的な公開講座、教育連携の向上

② 今後の改善方策

- ・地域に対する公開講座・教育訓練について、実施の検討

③ 特記事項

- ・子育て支援活動を定期的(月2回ほど)実施している
- ・学生に対してボランティアの積極的告知を行い、施設や園での活動や清掃活動を行っている
- ・地域貢献活動(ハロウィンイベント、町内こども会、地域の遊びの広場等)

④ 委員コメント

- ・積極的に地域貢献イベントを行っており、かつ継続していることがすばらしいと思う。
- ・学生時代にもボランティア活動に参加したことがあり、良い経験となった。
- ・今後もぜひ様々な社会、地域貢献を行ってほしい。

(11). 国際交流(必要に応じて)

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4	3	2
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	1
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1
学内で適切な体制が整備されているか	4	3	2	1

① 課題

特になし。

② 今後の改善方策

特になし。

③ 特記事項

特になし。

全体を通して(委員より)

- ・卒業生としての意見をいろいろと話せる機会を頂いてよかった。
- ・率直に感じたことを話させてもらったが、こうして養成校と現場が意見交換をするような機会はとても貴重であるし、今後も良い関係を築いていきたい。
- ・専門学校の体制や教育内容及び実社会の話聞けるこのような機会は、進路指導をするうえで非常に有益な時間であった。